



共に支え合おう

安心して心豊かに暮らせる

福祉のまち天童

社協

天童市社会福祉協議会

だより

1月
Vol.199

Contents

- 新年のご挨拶
社会福祉功労者等表彰受賞者紹介 P.2
- 居宅介護支援事業所
訪問介護サービス事業所の紹介 P.3
- 天童市生活自立支援センター
生活福祉資金貸付制度のご案内 P.5
- 地域カフェ紹介 P.8

※社協は「社会福祉協議会」の略称です



「加齢を華麗に」で若返り

楽しく元気に骨盤ど～も体操

「加齢を華麗に」を合言葉に令和7年11月4日、市総合福祉センターで「さわやか健康教室・心と体が笑顔になる若返り運動」を開催しました。65歳以上の高齢者約50人が参加し、美ボトレ sana 代表の五十嵐早

苗さんを講師に、関節の可動域を広くするストレッチや、コミュニケーションを取り入れた運動「骨盤ど～も体操」などで交流し、心地よい汗を流していました。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しています。

各種公式SNS
情報発信中!

FOLLOW US!



@204blped



@tnd_shakyou



@TENDOSHAKYO

新年のごあいさつ



社会福祉法人
天童市社会福祉協議会
会長 名佐原 雅 治

明けましておめでとうございます。
希望に満ちた令和八年の輝かしい新春を迎えられた皆様にご心より御健勝、御多幸をお祈りいたします。

近年、猛暑日が増加したり、集中豪雨など極端な気候現象が頻繁に起こったり、私たちの生活にさまざまな影響を及ぼしています。予想したい変化への対応が求められています。

昨年五月に山形県の推計人口が記録に残る大正九年以来、百五年ぶりに百万人を下回ったと発表されました。人口減少は、天童市においても例外でなく六万人を下回ることとなりました。少子高齢化の進行が叫ばれてから久しく、さまざまな福祉課題が顕在化しており、効果が見込まれる総合的な対策が求められています。

さて、事業の一つである「地域支援事業・生活支援体制整備事業」の拡充を図るために、生活支援・介護予防サービス事業の充実に向けて、ボランティア等生活支援の担い手を養成・発掘する「地域資源の開発」と「ネットワークの構築」を進めてまいりました。現在配置されている市全域（第一層）の協議体に加えて、新たに中学校区域（第二層）を対象に配置すべく、昨年は天童中部・成生地域の関係者と勉強会を行いました。事業を実施している重層的支援体制整備事業と連携を図り進めてまいります。

本会は、昭和四十一年七月に社会福祉法人天童市社会福祉協議会として法人になりました。以来、地域福祉を推進する中核組織としての社会的な使命のもと、地域生活課題の把握や地域共生社会の実現を目指して、地域住民、行政や社会福祉事業等との連携と協力により、令和八年に法人設立六十周年を迎えることになりました。この記念すべき年を契機として、今後とも役員一丸となって、社会福祉法人天童市社会福祉協議会の発展に努力してまいりたいと思えます。これまでの皆様の御指導と御協力に対し感謝申し上げます。

新しい年も「共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち天童」を目指して皆様と共に歩んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

社会福祉功労者等表彰受賞者紹介

日頃の社会福祉活動が認められ、表彰等を受賞した皆さんをご紹介します。（敬称略）

「第七十五回山形県・県民福祉大会」 令和七年十一月二十八日

《県知事表彰》

- ・伊藤 孝（市民生委員・児童委員）
- ・金子 祥子（市社会福祉協議会職員）
- ・手塚 拓郎、能澤 充昭、新関 夏子（以上三名 紅花ホーム）

《大会会長表彰》

- ・花輪 叶、山西 洋子、高橋 待子
- ・緑川 慎一、曾根田 篤、村上 定幸、小座間則子（以上七名 市民生委員・児童委員）
- ・荒井 直美、菊地 孝志

- （以上二名 市福祉推進員）

- ・中西 裕子（天童ファミリー・サポート・センター提供会員）

《県知事感謝状》

- ・村形 祐子

（市民生委員・児童委員の配偶者）

《県社会福祉協議会会長感謝状》

- ・社会福祉法人天童まいつる会



「第五十九回山形県老人福祉大会」 期日：令和七年九月三日

《県知事表彰》《県老人クラブ連合会会長表彰》

- ・鈴木 秀子（柏木 柏共会）

「市社会福祉功労者表彰」 期日：令和七年十月十一日

- ・國井 武志（市民生委員・児童委員）
- ・大石ヨシ子（市食生活改善推進協議会）
- ・庄司 弘子（市母子寡婦福祉連合会）
- ・天童もみじ会（市社会福祉協議会ふれあいまちづくり講座講師）

ご協力ありがとうございます

令和7年度 社会福祉法人天童市社会福祉協議会 会費
令和7年12月22日現在

地域名	会員	集金額
天童南部	2,413	1,689,100
天童中部	3,370	2,359,000
天童北部	1,994	1,395,800
成 生	1,195	836,500
蔵 増	927	648,900
寺 津	424	296,800
津 山	1,015	710,150
田 麦 野	65	45,500
山 口	868	607,600
高 揃	1,118	783,900
長 岡	1,656	1,159,200
干 布	828	579,600
荒 谷	564	394,800
合計	16,437世帯	11,506,850円

ご協力いただきました会費は、「共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる福祉のまち天童」を理念とした地域福祉事業に活用させていただきます。なお、各地域の社会福祉協議会より会費集金にご協力いただきましたので、各地域の福祉推進に活用いただくため、各地域社会福祉協議会に15万円の助成を行っております。

ご寄付ありがとうございます

(令和7年9月16日～12月15日受付分)

◇フードドライブへの食品等寄付

- ・(株)ヤマザワ 様
(天童北店・天童西店・長岡店・天童中央店)
- ・ファミリーマート 様
(天童北久野本店・中里店・天童南小畑店)
- ・來運寺 様
- ・退職女教員の会 天童 様
- ・生活協同組合共立社天童生協 様
- ・天童市民及び天童市職員の皆様
- ・天童北部地区民生委員 様
- ・(株)ニチレイフーズ山形工場 様
- ・J A てんどう女性部 様
- ・天童市更生保護女性会 様
- ・本間 舞 様
- ・八鍬光広 様
- ・匿名5名

◇地域食堂・子ども食堂への食品等寄付

- ・(株)ダイナム 様
- ・和歌山産業(株) 様
- ・山形ヤクルト販売(株)天童センター 様
- ・(株)おーばんホールディングス 様
- ・吉田多喜雄 様
- ・石川義光 様
- ・匿名3名

続報!

10月19日®
in 社会福祉法人
羽陽の里

夢がかなえっぺ!

「施設入居者様の夢・実現」と
「介護の魅力発信・介護人材の発掘事業」

～いっしょに・もっと・にっこり笑顔～ in てんどう

今年度は「色々な方との交流を楽しみながら、歌をうたいたい」という
利用者さまの夢をかなえるべく、プロジェクトチームが始動!!

10月号で紹介した 羽陽学園短期大学の「夢かな事業」。学生等ボランティア（羽陽学園短期大学・県立天童高等学校）を中心に、対象者の方が気持ちよく歌えるように企画運営に取り組み、ついに10月19日に本番を迎えました。

社会福祉法人 羽陽の里の入居者も参加され、会場は温かい雰囲気の中スタート！学生が司会進行、開会の挨拶を務め、ボランティアによる花笠踊りが披露されました。入居者の方も音楽に合わせ一緒に体を動かしたり、掛け声・応援をしたりと楽しまれていたようでした。

メイン対象者の夢である歌の披露が行われ、お二人とも大きな声で気持ちよさそうに歌われました。参加者からは、「頑張れ」「楽しそうでいいね」等の声が上がっていました。続けて、頑張ったお二人への花束贈呈。最後に参加者全員で「ふるさと」を歌い、会は閉じました。



事業に携わった多くの方との関わり・つながりの中、利用者さんの夢は叶ったのではないかと思います。ボランティアで参加した学生等からは、「利用者の方が楽しんでもらうにはどうすれば良いか様々な人達と考え、実践することができ、良い学びになった」「自分の関わりや行動が誰かの勇気や喜びへと繋がっていくと感じて嬉しかった」と感想が寄せられました。

参加した皆さんが幸せな気持ちを共感できた素敵な会でした♥学生等ボランティアも、「対象者を想い、出来ることを考えて実行できた」ことは、貴重な経験になったのではないかと思います。今後も多くのボランティア活動・地域とのつながりづくりに、市社協でバックアップしていきます!!

市社協介護サービス係のご案内



天童市居宅介護支援事業所

問合せ／☎ 658-7350

居宅介護支援事業所は、要介護者が自宅で自立した生活を送るために、ご本人、ご家族と相談しケアプランの作成やサービスの調整等を行う事業所です。

要介護認定を受けた方に対して、介護支援専門員が利用者やご家族の状況に合わせて、必要な介護サービスのケアプランを作成します。

天童市訪問介護サービス事業所

問合せ／☎ 658-7355

訪問介護事業所は、利用者が自宅で自立した生活を送るために、訪問介護員が自宅を訪問して介護サービスを提供する事業所です。

天童市訪問介護サービス事業所では、障害者総合支援法、介護保険法に基づく訪問介護事業や、天童市委託の移動支援事業や子育て世帯訪問事業等を行っております。

初めての訪問介護実習

訪問介護サービス事業所では福祉人材育成を目的に、10月に県立天童高等学校二年生8名の実習を受け入れました。担当していただいた先生、また初めての介護実習を受けた生徒さんより感想をいただきました♪



実習担当先生より

生徒達にとって初めての介護現場であり、利用者の方のご自宅に訪問するという貴重な機会となっています。職員の方の利用者の方への接遇から、対人援助職としての在り方を深めることができました。今年度の系列選択者13名のうち12名が福祉の道を志すなど、これからの福祉の未来を担う人材育成の場となっています。

生徒さんより

- 訪問介護で利用者の気持ちを最優先に考え、話し方や動作、表情で笑顔を引き出せると感じ学ぶことができました。(A・K)
- 訪問介護を通して、利用者さんやその方の家をよく観察して変化に気付いたり、利用者さんの自己選択・自己決定を大事にしたりすることを学びました。(K・H)
- 訪問介護実習をして、短時間だったが利用者さんをよく理解することやコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。(K・I)



市民向け！ 成年後見制度研修会

公証役場の方より任意後見、遺言をテーマにお話をさせていただきます。
今後も自分らしい生活を送れるように、制度について勉強してみませんか？

開催日：令和8年2月17日(火) 13:30~15:00
会場：天童市総合福祉センター
定員：30名
講師：山形公証役場 公証人 小泉敏彦氏
対象者：天童市内にお住まいもしくは通勤・通学されている方
申込方法：令和8年2月9日(月)まで

※電話またはFAX、二次元コードからお申込みください。



申込用二次元コード

申込・問合せ／相談支援係(☎ 654-5156・FAX 654-5166)

天童市生活自立支援センターへご相談ください

市内にお住まいで、失業や離職、病気等の理由により生計や暮らしの不安、困りごとを抱えた方々の相談窓口です。公的制度的利用や関係機関との連絡調整、相談者の自立のための活動を進め、問題解決のお手伝いをします。

こんなお困りごとございませんか？

- 雇い止めや離職で生活費に困っている。
- 収入が無くなり、家賃や公共料金等が払えない。
- 就職や負債のことで悩んでいるが、誰に相談すればいいのかわからない。等々…



関係機関と連携しながら支援を行います



※お越しになる際は、事前にお電話でお申し込みください。訪問でのご相談も可能です。

自立相談支援事業

- ◆ **あなたの支援プランを作ります**
相談員と一緒にどのような支援が必要なのかを考え、プランを作成し、継続的な支援を行います。
- ◆ **公的制度や相談窓口を紹介します**
就労や介護、障がい、子育て、医療、法律等の相談窓口に取り次ぎ、公的制度やサービス等の活用・調整を進めます。

住居確保給付金

離職等により住居を失った又は失う恐れのある方に、①家賃補助(住居の確保及び就労機会等の確保) ②転居費用補助(家計の改善)の支援を行います。支給にあたり、収入や金融資産、離職期間等の支給要件や求職活動等の要件、また、世帯人数に応じて支給上限があります。詳しくはお問い合わせください。

申込・問合せ／相談支援係 市生活自立支援センター (☎ 654-5156)

生活福祉資金貸付制度のお知らせ

生活福祉資金は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯等の **経済的自立と生活の安定** を目指して、無利子または低利子で貸付を行う制度です。



生活福祉資金の種類

1. 総合支援資金	2. 福祉資金 福祉費	3. 福祉費 緊急小口資金	4. 教育支援資金	5. 不動産担保型福祉資金
失業等による収入の減少により、生活の維持が困難となった世帯を対象とした貸付です。 ※雇用保険、年金等公的給付を受けている場合は対象外です。	技能修得や転居等にかかる費用、傷病の療養費やその期間の生活費、福祉用具や障がい者の自動車購入費等のための貸付です。	緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となった場合の貸付です。	高校、大学、専門学校等の入学や修学に必要な経費の貸付です。 ※日本学生支援機構の奨学金、母子父子寡婦福祉資金等の貸付制度等が優先されます。	65歳以上で配偶者以外の同居人がいない世帯を対象にお住まいの居住用不動産を担保に生活費の貸付を行います。

貸付にあたって

- (1)原則として連帯保証人(県内在住の65歳未満の方)が必要です。世帯への貸付のため、ご家族構成や家計状況をお聞きします。(所得を証明する書類の確認の他や負債の確認があります。)
 - (2)貸付によって家計が改善され、その後、**計画的な償還が可能であるかを確認**します。
 - (3)申請受付から償還完了まで、**市社協と担当民生児童委員が相談支援**を行います。
- 《その他》
- (1)市社協で相談を受け、必要書類を提出いただいた後、山形県社協で審査を行います。
※申請から貸付、資金交付まで**通常3週間から1か月**を要します。
 - (2)資金の種類によって市生活自立支援センターにおける相談が必要になります。

問合せ／相談支援係 (☎ 654-5156)

「歌と踊りの 天童もみじ会」

天童もみじ会さんは、“ふれあいまちづくり講座”に講師として登録されてから、今年で10年になり、社会福祉功労者表彰にも選出されました。そんな天童もみじ会の代表 小野正夫さんに、インタビューさせていただきました。

Q. 結成のきっかけは？

20年くらい前から、趣味の歌でボランティア活動を行っていました。より楽しんでもらうために13年前から踊りができるメンバーを迎え、「歌と踊りのもみじ会」を結成しました。

Q. 会員さんの募集方法がありますか？

特にありません。歌や踊りの発表会などで、知人に声をかけて紹介してもらったりしています。おかげで、人数が少しずつ増えています！ですが、これからも続けていくためにも、若い方にも是非入ってほしいと思っております。

Q. 長く続けられている秘訣は？

もみじ会では、働いている方もいるため、無理強いはせず、会員同士でカバー、協力して活動する事が秘訣だと思います。また、活動に賛同してくれる素晴らしい会員にめぐまれているので、本当にありがたいです。

Q. 楽しいトークの秘訣は？

皆さんに楽しんでもらうために、色々な話題を仕入れたり、面白いネタを覚えたりなどの努力をしています。ですが、近年は自由に発言できなくなってきているので難しい部分も多々あります。

「天童もみじ会」の活動をご紹介します in 11月13日天童北部地域北斗大学 (高齢者大学)

いきいきサロンや地域カフェ、高齢者施設、町内会のイベントなど、様々な場所で活動されています。



天童もみじ会は、現在15名の会員で活動しており、月に6回会員が集まって練習しています。歌と踊りの間にある、小野さんの痛快で楽しいトークは参加者のみなさんを笑顔にさせてくれます。参加者の方からは「こんな素晴らしい人だちがいだの知らねがたがらよ〜いがたあ！今日聞けて！本物みだいだった！いがたあ〜」との感想がありました。

笑って、感動して、楽しめる！天童もみじ会さん、引き続きのご活躍を応援しております！

地域情報 まるごと発信★トピックス



いきいき・ふれあい

健康福祉まつり2025開催♪

10月11日、健康と福祉の祭典「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2025」を市総合福祉センターで開催しました。幅広い世代の地域の方々に来場していただき、開会式から終了まで大変賑わいました。

式典後、ステージイベント『天童将棋駒ササイズ』が披露され、たくさんの拍手の中で健康福祉まつりがスタートしました。今年度も福祉事業所やボランティア団体等が出店した「ふらっとマルシェ」、多くの体験コーナーや展示、スタンプを3つ集めた方が挑戦できる「メダカすくい・ポッチャ体験」など様々なブースを用意しました。来場者の皆様の楽しそうな笑顔を見ることができ、とても嬉しい気持ちになりました。

来年度も、楽しみながら健康・福祉を体感していただける健康福祉まつりを考えます。ご来場いただいた皆様、またご協力いただいた各関係者の皆様誠にありがとうございました。



天童中部・成生地域

支え合いの地域づくり勉強会

天童中部・成生地域支え合いの地域づくり勉強会を開催しました。この勉強会は、少子高齢化社会や地域コミュニティの希薄化がもたらす地域課題に対し、住民が我が事と捉え、「自分たちの住む地域では何が出来るか」を考え、話し合う場を作ることを目的としています。第1回（10月31日）は、天童市の現状の説明、アイスブレイクも兼ね「助け合い」をゲーム感覚で楽しく体験できる『助け合い体験ゲーム』を実施しました。さわやか福祉財団の鶴山氏の講話では「今、なぜ地域での助け合う関係が必要なのか」をテーマに全国の事例紹介をしていただきました。参加者からは、「自分にできることがあれば嬉しいことだし実施したい」等の感想をいただいています。

天童中部・成生地域に協議体（話し合いの場）が1月に立ち上がります。地域活性化に向けた『住民主体のまちづくり』には住民の方の意見が必要です。一緒に考えていきましょう。

災害ボランティアセンター活動体験開催！

10月5日(日)、天童北部小学校グラウンドにて災害ボランティアセンターの活動体験を開催しました。例年、市総合防災訓練の一環として、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施していましたが、今年度は地域の方に災害ボランティアの活動体験を通して、災害ボランティアセンターに対する理解を深めていただくことを目的に活動体験を実施しました。

当日は、災害ボランティアに関する説明や二次元コードによるボランティア登録の疑似体験、一輪車を利用したブロック塀やタイヤ等の運搬、畳の移動体験を催し、約120名の地域の方に体験いただきました。

災害ボランティアセンターでは、被災された方の生活再建を目的に活動し、被災された方のニーズ調査やボランティアの受け入れ、活動先の調整等を行っています。今回、活動体験にご協力いただいた天童青年会議所を始め、さまざまな企業や団体、ボランティアの方々の協力がセンター運営等には必要不可欠となります。有事の際はボランティア等のご協力をお願いいたします。



地域カフェのご紹介

どなたでも
ご参加
いただけます!

現在、市内の公民館では主に高齢者の方を対象として、通いの場づくり活動が充実しています。地域社会福祉協議会・食生活改善推進協議会・民生委員・児童委員、福祉推進員等のみなさんがスタッフとして活躍中です。

市立公民館を拠点として、月1回以上、軽体操の時間を取り入れながら喫茶、なつメロ、スリッパ卓球、講話（栄養士・薬剤師・保健師）、軽体操等、地域によって特色のある幅広い活動が実施されています。

開催地域にお住まいでない方でも自由に参加することができます!! 各地域カフェの開催日は、毎月1日号の『市報てんどう』に掲載していますので、お気軽にご参加ください。



天童南部(ふれあい南部茶屋)



天童中部(くろがわ川)



天童北部(喫茶「いるばある」)



庵増(公民館喫茶“庵”)



寺津(うたごえ喫茶)



田表野(守みれ会)



山回(お茶のみ処なすしこ)



高橋(こゝ茶来い)



千布(よほりん)

発行/社会福祉法人 天童市社会福祉協議会

〒994-0013 天童市老野森二丁目6番3号(天童市総合福祉センター内)
TEL: 023-654-5156 FAX: 023-654-5166
E-mail: fukushi-tendo@viola.ocn.ne.jp
<https://www.tendo-shakyo.or.jp/>

